

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福知山新築計画	階数	地上4F
建設地	京都府福井山市字堀小字水内347	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	174 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	6,400 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2011年1月1日
敷地面積	3,994 m ²	作成者	ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)岡村
建築面積	1,425 m ²	確認日	2011年1月1日
延床面積	4,584 m ²	確認者	ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)山下



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	98%
③上記+②以外のオンサイト手法	98%
④上記+オフサイト手法	98%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
<p>・地域の環境など特に考慮し、特色を生かした計画とする。</p> <p>省エネルギー、省資源により、環境に配慮した施設を目指す。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>・共用部にトップライトを設け、積極的に昼光を利用する計画とした。</p> <p>・化学汚染物質は放散しない材料を全面的に使用する。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>・内部空間には窮屈さを感じないような必要な広さを確保した。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>・敷地内に十分な緑地を確保し、既存樹も積極的に利用した。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>・自然エネルギーを極力利用できるよう、各居室は外皮に面して計画し、有効な採光、通風が確保できるようにした。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>・便器等の設備機器に節水型を採用する。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>・周辺道路に違法駐車させないよう、敷地内に十分な駐車スペースを確保した。</p> <p>・施設内、外にゴミ置場を設置し多分別回収できるよう考慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい